

反転

反転とは

半径 r の円の中心と異なる任意の点 P に対して、線分 OP またはその P の側への延長上に、 $OP \cdot OQ = r^2$ となるような点 Q を対応させるとき、このような点の変換を反転といい、 O を反転の中心という。

$$(X, Y) = \left(\frac{r^2 x}{x^2 + y^2}, \frac{r^2 y}{x^2 + y^2} \right), \quad (x, y) = \left(\frac{r^2 X}{X^2 + Y^2}, \frac{r^2 Y}{X^2 + Y^2} \right)$$

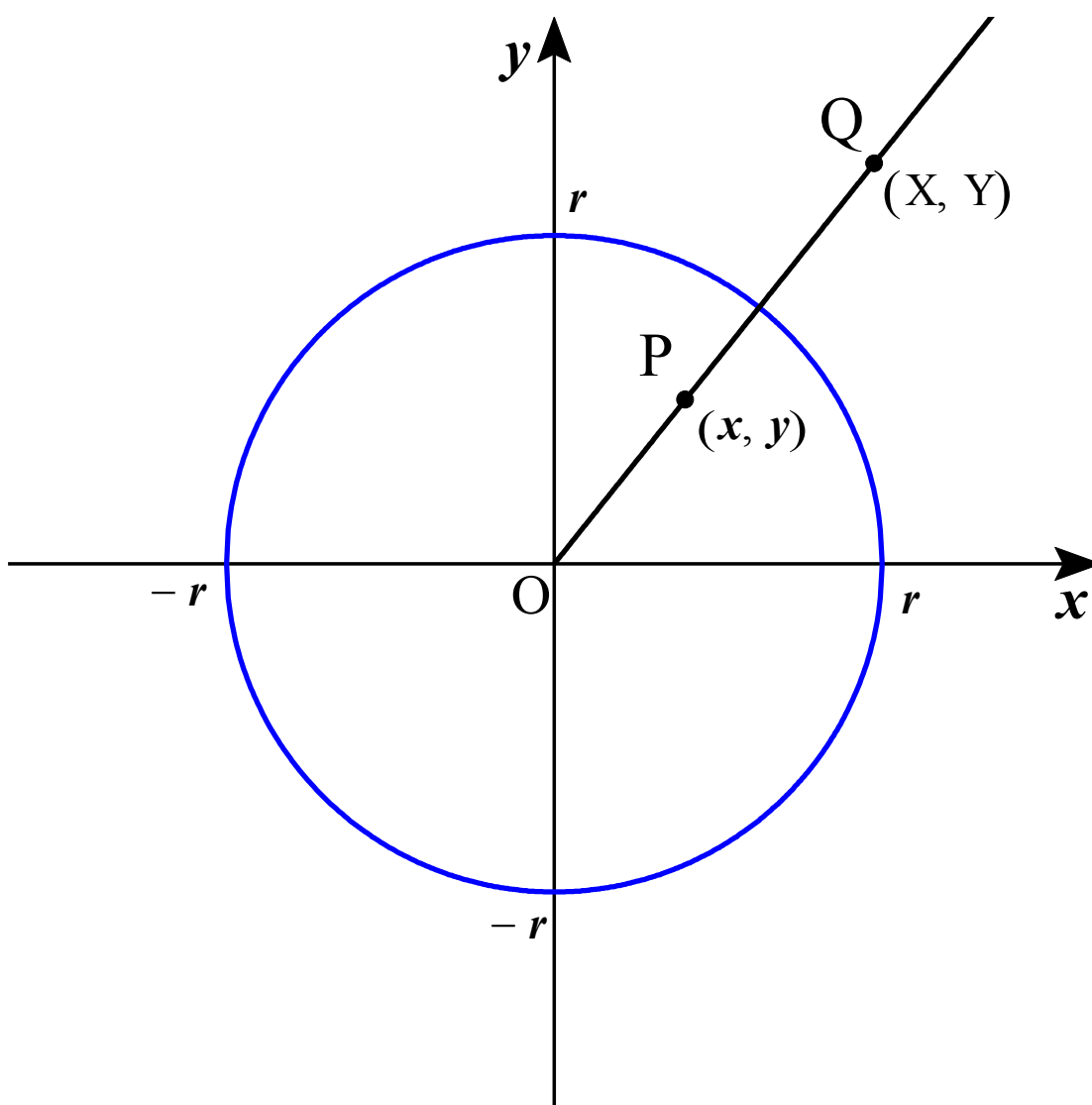
反転によって、

原点を通る直線 $y = mx \rightarrow$ 同じ直線 $y = mx$

原点を通らない直線 \rightarrow 原点を通る円

原点を通る円 \rightarrow 原点を通らない直線

原点を通らない円 \rightarrow 原点を通らない円



反転の例題

xy 平面上の y 軸に平行な直線 $x=1$ を l とする。

l 上の点 P に対して、次の 3 つの条件を満たす点 Q を対応させる。

- (A) 原点を O とするとき、 Q は直線 OP 上にある。
- (B) Q の x 座標は負である。
- (C) 線分 AB の長さを $|AB|$ で表すとき、 $|OP||OQ|=1$ を満たす。

P が l 上を動くとき、 Q の軌跡を求めよ。

解法 1 : ベクトルで解く

$\vec{OP}=(1,y)$, $\vec{OQ}=(X,Y)$ ($X<0$) とすると、

$|\vec{OP}||\vec{OQ}|=1$ より、点 Q は原点を通らない。すなわち $(X,Y)\neq(0,0)$

$$\begin{aligned}\vec{OP} &= |\vec{OP}| \cdot \frac{\vec{OP}}{|\vec{OP}|} \\ &= |\vec{OP}| \cdot \left(-\frac{\vec{OQ}}{|\vec{OQ}|} \right) \quad (\because \vec{OP} = -k\vec{OQ}) \\ &= -|\vec{OP}| \cdot \frac{|\vec{OQ}|}{|\vec{OQ}|} \frac{\vec{OQ}}{|\vec{OQ}|} \\ &= -\frac{|\vec{OP}||\vec{OQ}|}{|\vec{OQ}|^2} \vec{OQ} \\ &= -\frac{1}{|\vec{OQ}|^2} \vec{OQ}\end{aligned}$$

より、

$$\begin{pmatrix} 1 \\ y \end{pmatrix} = -\frac{1}{X^2 + Y^2} \begin{pmatrix} X \\ Y \end{pmatrix}, \quad \text{ただし } (X,Y)\neq(0,0)$$

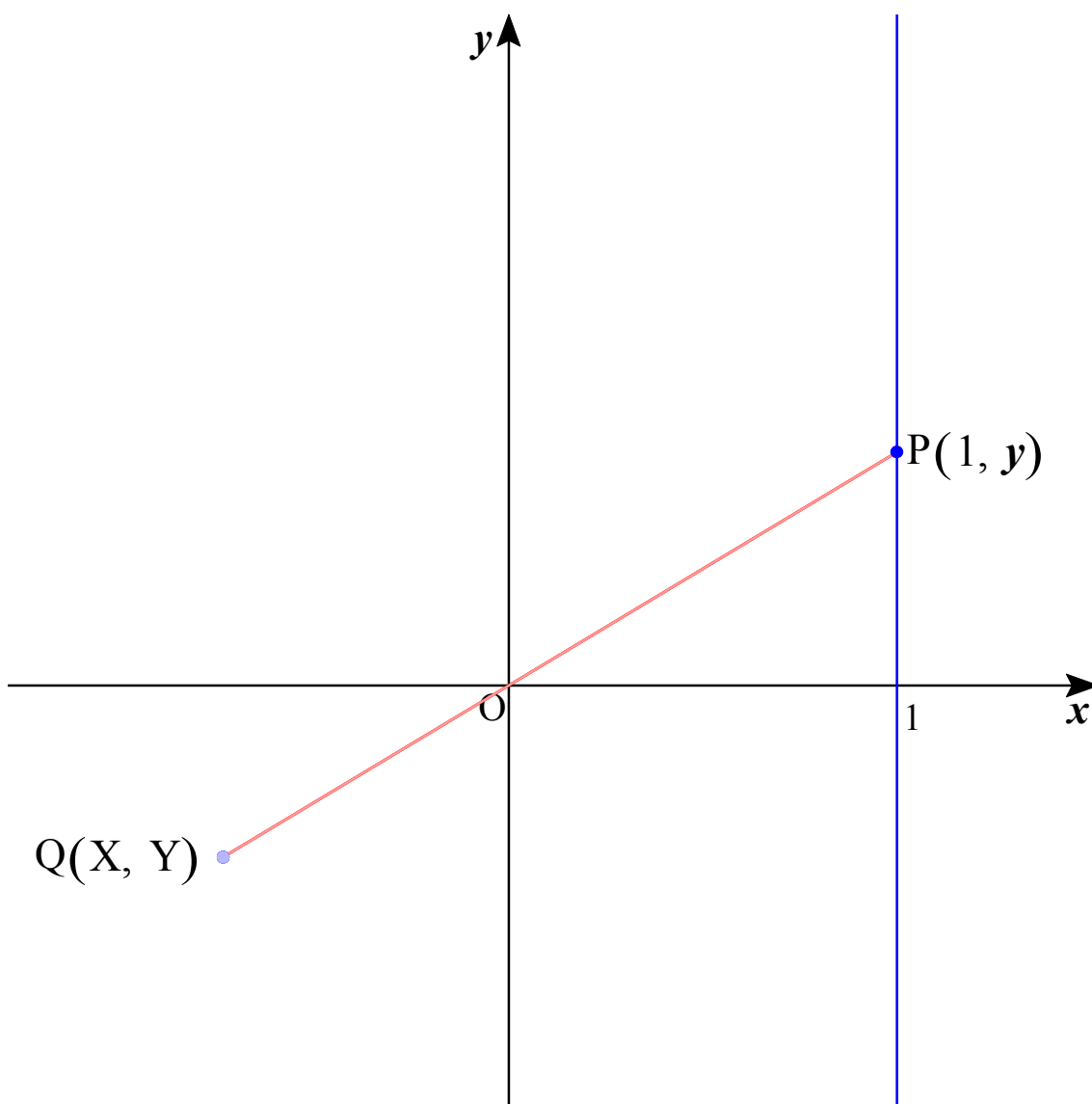
$$\therefore 1 = -\frac{X}{X^2 + Y^2}$$

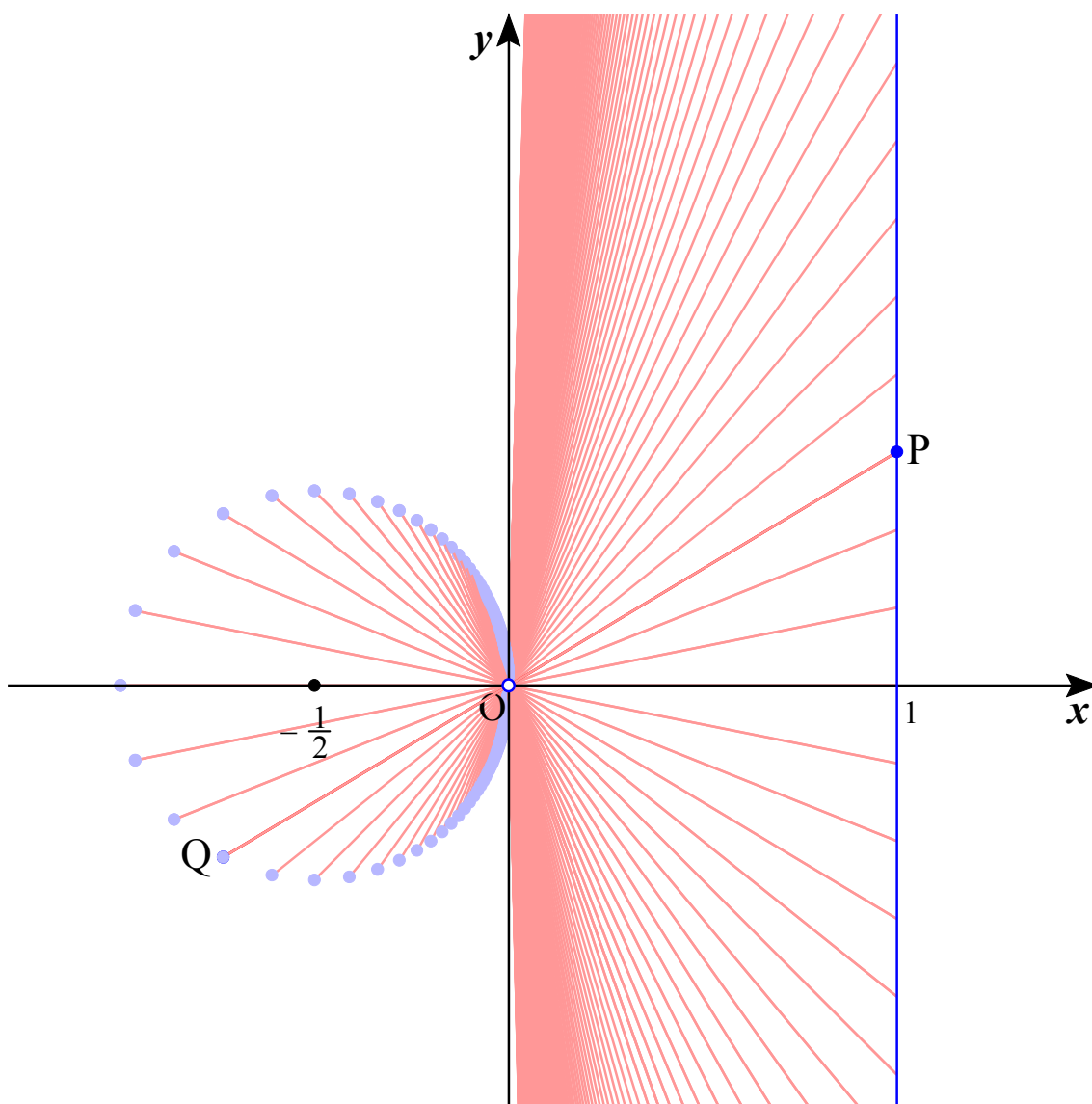
(X,Y) を (x,y) に書き改め、上式を整理することにより、

点 Q の軌跡は、

$$\left(x + \frac{1}{2}\right)^2 + y^2 = \frac{1}{4}, \quad \text{ただし } (x,y)\neq(0,0)$$

と表せる。





解法 2 : パラメータ (媒介変数) を使って解く

$P(1, t)$, $Q(X, Y)$ ($X < 0$) とおくと,

$$OP = \sqrt{1+t^2}, \quad OQ = \sqrt{X^2+Y^2}$$

条件より, $OP \cdot OQ = 1$ だから, $\sqrt{1+t^2} \sqrt{X^2+Y^2} = 1$

$$\therefore \sqrt{(1+t^2)(X^2+Y^2)} = 1 \quad \dots \textcircled{1}$$

Q は直線 OP , すなわち $y = tx$ 上の点だから, $Y = tX$

$$\therefore t = \frac{Y}{X} \quad (X < 0) \quad \dots \textcircled{2}$$

①, ②より,

$$\sqrt{\left\{1 + \left(\frac{Y}{X}\right)^2\right\}(X^2 + Y^2)} = 1$$

$$\therefore \sqrt{\frac{X^2 + Y^2}{X^2}(X^2 + Y^2)} = 1$$

$$\therefore \frac{X^2 + Y^2}{|X|} = 1$$

$X < 0$ より, $|X| = -X$

$$\text{よって, } \frac{X^2 + Y^2}{-X} = 1$$

(X, Y) を (x, y) に書き改め, 上式を整理することにより,

点 Q の軌跡は,

$$\left(x + \frac{1}{2}\right)^2 + y^2 = \frac{1}{4}, \quad \text{ただし } (x, y) \neq (0, 0)$$

と表せる。